

言葉を広げよう！ワークシート

課題1：電車



<活動例> 電車に乗る

一緒に電車に乗ることで、電車に乗ってから降りるまでの流れを経験し、「電車」という言葉や絵からさまざまなことをイメージできるようになります。下記に電車に乗ってから降りるまでの過程とそれに伴う言葉かけの例を挙げておきます。

1. 電車に乗るまで

「電車に乗るよ」「駅に行こうね」「きっぷを買うよ」「〇駅まで行くよ」「お金を入れて」「きっぷ出てくるかな？」「あっ、出てきたよ」「改札を通るよ」「駅員さんはいかな」「きっぷを通して（いれて）」「あっ、（きっぷが）出てきたよ、取ってね」（「ママはパスモ（スイカ）を持ってるよ」「ピッて（改札で）あてるんだよ」）

2. ホームで待つ間

「電車はまだかなあ」「どちらから来るかなあ」「あっ、電車が来たよ」「黄色い電車だね」「残念、反対だった」「あっ、（電車が）通り過ぎたよ、早いね、もう行っちゃった（見えなくなっちゃった）」「もうすぐ来るよ」「向こうに（電車が）見えたよ」

3. 電車に乗ってから

「〇駅が見えたよ」「まだ、着かないよ」「1つ（駅）、2つ、あと3つだよ」「〇駅で降りるよ」「あれ？何か聞こえたよ（次は〇駅だって）」「ここは、おじいさん、おばあさんが座るんだよ」「おじいさん、おばあさん、どうぞーって譲ってあげようね」

4. 電車を降りてから

「あっ、（〇〇に）着いたよ」「ドアが開くかな」「気をつけておりるよ」「きっぷはどこかな？あった」「（また）改札を通るよ」

- * 他にはどんな言葉かけができるかを考えてみましょう。
- * 駅や電車に関連する言葉も思い浮かべてみましょう。
- * バスや他の乗り物でも応用してみましょう。

<その他の活動例>

- なわとびなどで作った電車を使って電車ごっこ（♪線路は続くよ♪）
- むいぐるみやミニチュアの電車を使って電車ごっこ
- 電車に関する絵本読み

- * 他にどんな活動ができるか考えてみましょう。

課題2：すもう

<活動例>おすもうごっこ

本当のおすもうを見に行けば、より印象に残ると思いますが、なかなか見に行く機会を作るのが難しいと思います。

そこで、子ども達は体を動かすことが大好き！TVなどを見れば十分おすもうをイメージすることができます。その後に体を使って、おすもうごっこを楽しんで見てはいかがでしょうか？

家の中だったら、ビニールテープで土俵を作ったり、ダンボールや画用紙を利用して行司の真似をしたりできます。お父さんにも協力してもらいましょう。

「はっけよい、のこった、のこった」「〇〇の勝ち、やった！」「残念、負けちゃった」「〇ちゃんの方が強いね」「パパは弱いなあ」など楽しみながら、おすもうならではの言葉を聴かせていくことができますよ。

＊ 他にもお子さんが興味を持ったスポーツを扱ってみましょう。

<その他の活動例>

- 絵本読み：「ねずみのすもう」などを読む
- 紙すもうを作って楽しむ
- TVや新聞で一緒におすもうを見る

＊ 他にどんな活動ができるか考えてみましょう。

<聴かせられる言葉>

おすもうさん → 横綱（一番強いおすもうさん）

すもう・まわし・まげ・しこ・土俵・行司・お客さん

太っている・大きな体

勝つ・負ける・押す・倒す・投げる・やられる・倒れる・構える・見合う

はっけよいのこった・引き分け・優勝・反則・ルール・応援

～の方が強い（弱い）

〇〇対△△

